無所属市民派　南野けいすけは・・・

癒しと安心　貝塚

ど～んとこい！

貝塚市議会議員
南野敬介
市政ニュース
2015年2月吉日

①安全安心の貝塚市に向けて

- （通称）空き家、空き地等適正管理に関する条例の積極的活用をはかります。
- 住居表示の取り組みをすすめます。
- 東南海・南海沖地震にそなえ、防災の取り組みを進めます。
- 南海貝塚駅、ＪＲ東貝塚駅周辺の活性化をはかります。

②障がい者・高齢者の自立支援にむけた取り組みを進めます。

③人権行政・人権教育の推進にはかります。

④子ども達が笑顔で過ごせる教育環境づくりをめざします。

⑤関西空港開港20年を迎え国際化の時代にふさわしい貝塚市の特性を生かした観光事業に取り組みます。

⑥伝統芸能や伝統文化の継承に取り組みます。

4年間を振り返って

市民のみなさん。

二〇一一年四月に二期目の当選をいただいてから私、南野敬介は「安全安心のまち貝塚市」をめざし、様々な取り組みを行ってきました。

また、議会改革検討会の議論も精力的に行ってきました。

この四年間議会での取り組みを振りってみたいと思います。

《（通称）空き家・空き地等適正管理に関する条例制定》

私が所属する会派「新政クラブ」が提案し実現した条例です。

これまで議員提案の条例は、定数条例等ありましたが、実質的に議員自らが考え、調整し、提案された条例は貝塚市では初めての試みとなりました。

今現在、全国的に「空き家・空き地」の問題が発生しており、貝塚市でも長年の懸案事項の一つでもあります。

適正に管理しないと周辺にお住いの方々や地域の皆さんに不都合が生じることもしばしばです。

何とか前進させようと、取り組みを進め、賛成多数で可決されました。

条例ができたからと言って万全ではありません。

そこで、今期の四年間の一般質問や、予算・決算特別委員会では、常に「空き家・空き地条例」の課題を整理し質問してきました。

その成果もあって、「空き地」に対する基準は整理され、今その基準にのっとり行為者に指導等が始まっています。

しかし、まだまだ多くの課題が残っていますが、この条例を契機に少しでも環境改善が進むことに期待ください。

《住居表示の取組み進む》

住居表示も私が所属する「新政クラブ」がこの四年間本会議や決算・予算特別委員会で質問を繰り返し前進しました。

住居表示は、日常的な生活ではあまり影響はありませんが、「いざ」という時になくてはならない制度です。

たとえば、消防や警察への通報です。

住居表示の進んでいない地域では、ピンポイントで現場を特定することは難しく、単車に乗った警察官も右往左往している様子をよく見かけます。

同様に、いつ発生するかわからない地震や災害時に他府県からの応援部隊が現場を目指す時

に迷うことなく現場に到着する事です。

一分一秒が無駄にできない時に住居表示が進んでいないと、助かる命も助からない事態が発生します。

この事も毎回のように訴え続け、平成二十六年には半田町の一部で住居表示が行われ、今後も進んでいきます。

《議会改革検討会》

この四年間、議会改革検討会も四七回にわたって開催されました。

議論も多岐にわたり、開かれた議会づくりなどにも取り組んできました。

議会改革検討会で決まった主な内容は、

①議員定数の削減（二〇名→一八名）

②充て職委員報酬については、監査委員・農業委員以外の報酬は廃止。既に費用弁償（会議手当等）は廃止されています。

③政務調査（現政務活動）費の使途基準の厳格化・見直し。

④常任委員会視察は必要に応じ日帰り、近隣市を優先させる。

⑤町会長及び市から補助金が出ている団体の長と議員との兼務は好ましくないと申し合わせに記載。

⑥本会議の一問一答制の導入とインターネット放送

⑦市長等理事者の反問権利を認める

⑧議員政治倫理条例の制定。申し合わせにより改選時に「不祥事を起こした場合辞職する誓約書」を議長に提出するというものです。

この四年間の中で様々な意見が交わされた結果です。

《その他今期のこんな質問を行いました》

◎平成23第2回定例会
・災害時における行政データーのバックアップ体制の強化について
・大阪府民意識調査と戸籍謄本・住民票の登録型本人通知制度の導入について
・貝塚市元気アップ事業について

◎平成23年第3回定例会
・子ども達の登下校及び災害時の安否確認について
・行政改革について
・住居表示の取組みについて

平成23年第4回定例会
・市制七〇周年事業について
・本市の職員採用について

平成24年第2回定例会
・通称：空き家・空き地等適正管理に関する条例の活用と今後の課題について
・住居表示の取組みについて

平成24年第3回定例会
・通称：空き家・空き地等適正管理に関する条例の取り組みについて
・災害時、行政データのバックアップについて

平成25年第2回定例会
・青少年スポーツ施設の充実について
・独自商品券の積極的取組みについて

平成25年第4回定例会
・インターネットを活用した情報発信について

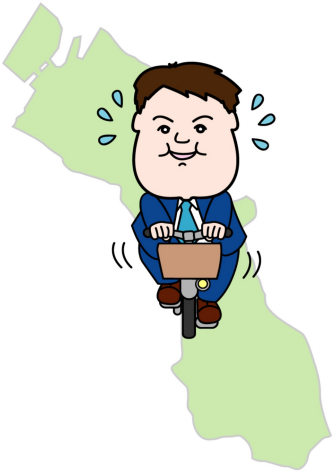
《各種手当・見舞金等独自商品券の活用について》

貝塚市の事業所・店舗等の活性化をめざし、プレミアム商品券の積極的活用を求めました。

これまで現金支給されていた長寿祝い金をプレミアム商品券を活用していただくようになりました。

無所属・市民派

南野けいすけプロフィール



１９６９年　貝塚市に生まれる
１９８２年　貝塚市立東小学校卒業
１９８５年　貝塚市立第２中学校卒業
１９８８年　大阪府立貝塚高等学校卒業
１９８９年　貝塚市役所嘱託
１９９１年　（現）貝塚市人権協会勤務
２００２年　（現）貝塚市人権協会事務局次長
２００４年　貝塚市東町会書記補佐
２００６年　社会福祉法人「ときわ福祉会」設立発起人

２００７年　貝塚市議会議員　初当選
社会福祉法人「ときわ福祉会」理事
東小100周年記念実行委員会相談役
大阪府立貝塚高等学校同窓会常任理事
２００９年　厚生常任委員会副委員長
２０１０年　第６６代貝塚市議会副議長
２０１１年　貝塚市議会議員選挙　２期目当選
議会運営委員長
麻生郷地車祭り運営委員会運営委員
２０１２年　厚生常任委員会委員長
２０１３年　リレー･フォー･ライフ･ジャパン
大阪実行委員会副委員長
平成２４年決算特別委員会
副委員長
東町会書記
２０１４年　リレー･フォー･ライフ･ジャパン
泉州実行委員会事務局長
第７２代貝塚市議会議長

お気軽にご相談ください
090-1911-4306

メール　info@keisuke-nanno.com
ホームページ　http://keisuke-nanno.com/